

OCDE ORGANISATION DE COOPERATION ET DE DEVELOPPEMENT ECONOMIQUES

OECD諸国における 幼保一体化への潮流

OECD教育局教育訓練政策課
ECECプロジェクトマネジャー
田熊美保

第26回 全日本私立幼稚園連合会
設置者・園長全国研修大会
2010年10月25日・26日

OCDE

鼎談に向けてOECDの視点

1. 「幼保一元化・一体化」に関するOECDより日本政府への政策提言
+ 3つの質問
2. 「幼保一元化・一体化」のOECD諸国の潮流
+ 5つの質問

OCDE

1. 「幼保一体化」に関するOECDより日本政府への政策提言

2009年11月

政権交代に伴い、OECDグリア事務総長より日本政府へ提言「日本の政策課題の達成のために～OECDの貢献」

- 就学前教育と保育に対する公的支出を増加するとともに、「子ども手当」案は、その目的と対象を再検討すべきである。
- 一層の政策一貫性と幼保一元化によって、効率の改善と待機児童の解消を図り、もって、幼児教育と保育を改善すべきである。

OCDE

2010年6月

OECDジャパンセミナーのため来日、教育局局長より提言

支持する点

- 幼児期の子どもに対する公的支出を増加させる
- 「子ども・子育てビジョン」等の包括的な子ども政策策定へ向けた行動
- 幼保一体化を目指した「認定こども園」の設立

問題提起

- 「子ども手当」の政策目標を明確化し、限られた財源を効率的に投資することが必要。
- 幼児期の子どもに対する支出は、「将来の社会への投資」であることを強調する政策が必要。
- 幼児教育政策を、中・長期成長戦略の中に組み込むことが重要

OCDE

鼎談に向けて 1について、3つの質問

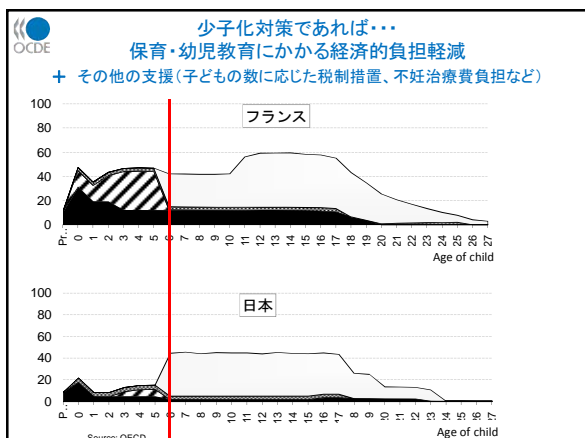
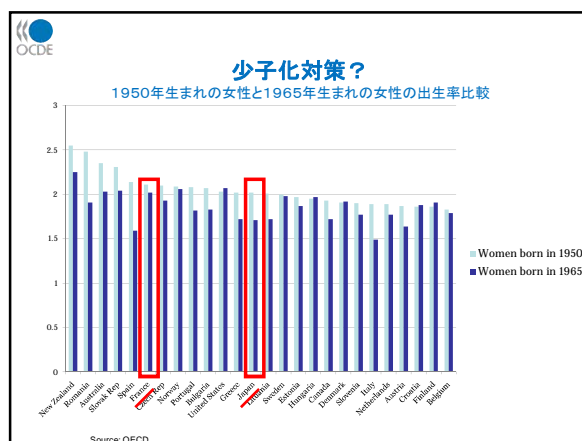
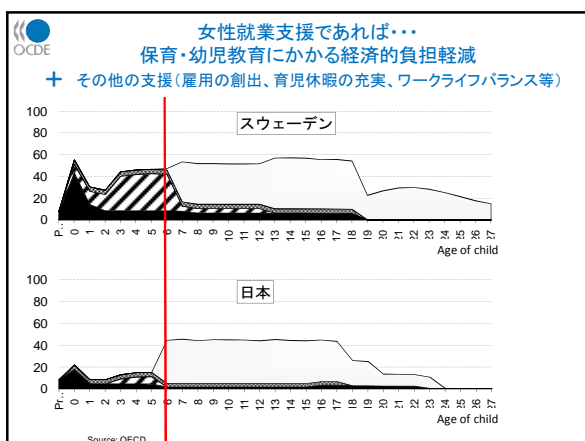
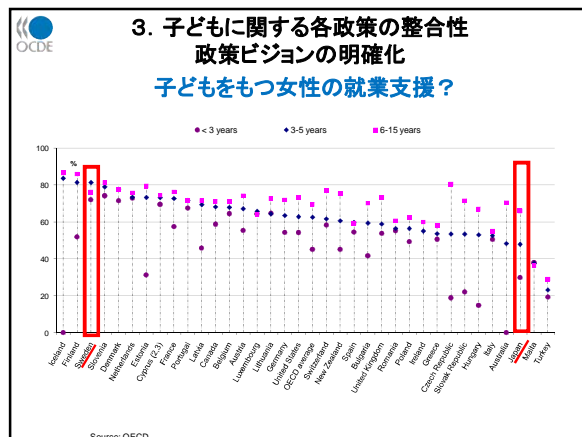
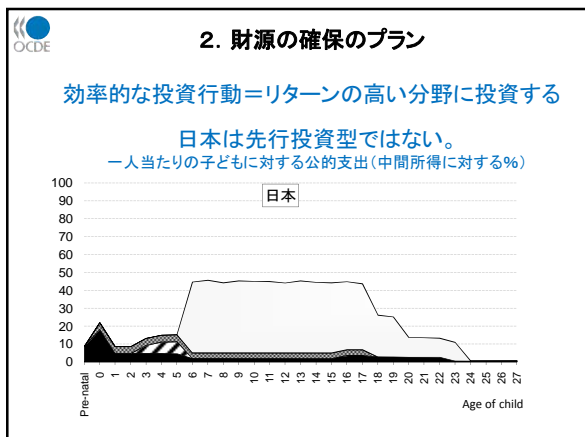
OCDE

1. 国家戦略(即効性を求めるニーズと中長期的効果のバランスをとる政策)と幼児教育の位置づけ 長期的な国家成長戦略? 「出費」から「投資」へ?

教育に対するリターンは、幼児期が最も高く、年齢とともに小さくなっていく。また、幼児期では、経済的に恵まれていない家庭の子どもを対象としたものが最も投資効果が大きい。

人的資源の構築: ライフサイクルでみる教育の投資効果

出典: European Expert Network on Economics of Education, adoption of Cunha et al. (2006)



- ### 鼎談に向けて 1について、3つの質問
1. 長期国家成長戦略の一環として幼児教育は位置づけられている?
効果に関する検証、「エビデンス」の構築(調査・研究)プランは?
 2. 財源確保のプラン
子ども手当て?消費税?その他?
 3. 子どもに関する各政策の整合性
子どもの視点の取りこぼしはないか?
政策パッケージが組まれているか?

OCDE

2. 「幼保一元化・一体化」のOECD諸国の潮流

- 諸外国の現状
- 一元化・一体化の側面
- 統合・非統合の理由
- 諸外国の経験に学ぶ(成功要因と有効手段)

OCDE

諸外国の現状

統合型	分裂型	その他(選択制など)
スウェーデン(教育省)	ベルギー(オランダ語圏)	オーストラリア
ノルウェー(教育省)	ベルギー(フランス語圏)	カナダ
フィンランド(福祉省 0-6; 教育相 for 6+)	チェコ	ドイツ
デンマーク(福祉省)	ハンガリー	米国
ニュージーランド(教育省)	アイルランド	
英スコットランド(教育省)	イタリア	
英イギリス(教育省)	日本	
スロベニア(教育省)	韓国	
チリ(教育相)	ポルトガル	
	トルコ	
	メキシコ	

OCDE

幼保一元化・一体化の側面

統合型の国において統合した側面

統合の対象	チリ	フィンランド	ニュージーランド	ノルウェー	スコットランド	スロベニア	スウェーデン
1. 行政及び財源管理・所管	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施
2. 政策目標	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施
3. サービスの在り方に関する制度・規制(設置基準、開所時間、年齢、スタッフ、子ども比率、スタッフの資格・俸給制度、養成と研修など)	実施	実施	予定なし	実施	計画	実施	実施
4. カリキュラムと教育観・保育方法	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施
5. 質保障(査察、モニタリング等)	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施
6. 費用負担・利用料	実施	実施	実施	実施	計画	実施	実施

分裂型の国においても、統合される対象

- * 行政管理、サービスの一面(場所、運営時間等); 0-6歳のカリキュラム; スタッフの資格など)

2009年OECD19カ国アンケート結果

OCDE

統合・非統合の理由

何故 統合したのか? 何故 統合しないのか?

政治・世論

- ECEC(幼児教育・保育)に関する政治による支援・国民の理解

政治・歴史・価値観・所管

- 長い伝統、文化的価値観、教育と保育の政治的バランス
- 国の行政との一致

政策目標を一元化

- より公平な社会
- ECECの参加率向上

制度の効率的なマネジメント

- 包括的な子ども政策の実施
- よりよいデータ収集、モニタリング、評価
- 簡素化による制度に対する理解の深化
- 効果的な質保障と向上
- 二重行政の排除

財政

- ECECに対する支出の増加

カリキュラムと教育観・方法

- 一貫したカリキュラム
- ECECから初等教育へのスムーズな移行
- 子どものニーズへの理解

しかし、統合に向けて動いている国もある

- さまざまな政治目標の調整の必要性
- 責任の所在の不明確性
- ECECサービスの一貫性の欠如
- ECECサービス提供者の多様性による質のばらつき
- 子どもの幸福や学習の上述の全体的な視点の欠如

2009年OECD19カ国アンケート結果

OCDE

諸外国の経験に学ぶ:

幼保一元化実施に必要な5つの要因と有効な手法

買の高いECECサービスを、必要とする全ての人に供給するには・・・

行政・財源管理	政策目標	サービスの在り方に関する制度・規制	カリキュラム・教育法・保育方法	質の保証	費用負担・利用料
<ul style="list-style-type: none"> • 制度設計の重要性 • 移行期(「0-6歳」) • 一貫性のあるサービス • 効果的なデータ収集、モニタリング、評価 • 簡素化による制度に対する理解の深化 • 効果的な質保障と向上 • 二重行政の排除 	<ul style="list-style-type: none"> • 包括的な子ども政策の実施 • よりよいデータ収集、モニタリング、評価 • 簡素化による制度に対する理解の深化 • 効果的な質保障と向上 • 二重行政の排除 	<ul style="list-style-type: none"> • 政治・世論 • 政治・歴史・価値観・所管 • 政策目標を一元化 • 制度の効率的なマネジメント • 財政 	<ul style="list-style-type: none"> • 一貫したカリキュラム • ECECから初等教育へのスムーズな移行 • 子どものニーズへの理解 	<ul style="list-style-type: none"> • 責任の所在の不明確性 • ECECサービスの一貫性の欠如 • ECECサービス提供者の多様性による質のばらつき • 子どもの幸福や学習の上述の全体的な視点の欠如 	<ul style="list-style-type: none"> • 費用負担の軽減 • 利用料の削減 • 財政的負担の軽減 • 質の保証 • 費用負担・利用料

OCDE

鼎談に向けて

2について、5つの質問

1. 政治的協約との係わり・プライオリティーの度合
2. 実施するための必要予算(1についての質問、同)
3. 関連団体・業界の理解・支援は得られているか
4. 子どもと親のニーズの一貫性、充分議論されているか
5. 実現可能な時間に基づいた工程表は作成されているか